

宇宙一カンタンなスローDX・AXの教科書 / 導入した施設の声

訪問看護リハビリステーション JA-KEY+ (MAO GROUP・広島県広島市)

「帰宅してから記録を書く」が、ほとんどなくなった—— 広島の訪問看護、約60名の報告書・計画書を「下書きから仕上げる」形へ

広島市西区の訪問看護リハビリステーション JA-KEY+（じゃけえぷらす）。沖縄に拠点を持つ MAO GROUP の広島のステーションとして、約60名の利用者様の訪問看護を担っています。1日に8件ほど訪問し、移動距離も長い毎日の中で、神マナを使って何が変わったのか。現場で記録と月末の書類を担う玉井花奈氏ご本人に綴っていただきました。

MAO GROUP

訪問看護リハビリステーション JA-KEY+ 玉井 花奈

夜中に記録を書くのが、当たり前になっていました

神マナを実際に使用してみて、まず大きく変わったと感じているのが、日々の看護記録にかかる時間です。

訪問看護では、1日に8件程度訪問することもあり、特に広島は利用者様のご自宅までの移動距離が長いことも多く、訪問と訪問の間の時間がかかなりタイトなスケジュールになっています。そのため、訪問後すぐに記録を入力することが難しく、これまでは帰宅してから記録をすることも少なくありませんでした。仕事が終わって家に帰り、家事や子どもたちのことを済ませた後、夜中に記録を書くということも当たり前になっていました。

訪問の合間に、その場で記録できるようになりました

神マナを使用することで、記録作成にかかる時間が短縮され、訪問の合間でも効率よく記録を作成できるようになりました。また、リアルタイムで利用者様と関わった内容を記録として残しやすくなったことも大きな変化です。

さらに、「看護課題に沿った内容をきちんと記録できているか」といった確認にもこれまでは時間をかけていましたが、その部分についても負担が軽減されたと感じています。

“結果として、「帰宅してから記録を書く」という行為自体がほとんどなくなり、仕事と家庭の時間を切り分けられるようになったことは、私自身にとってかなり大きな変化でした。

— 玉井 花奈

月末・月初の報告書と計画書は「下書きから仕上げる」形に

そして、最も大きな時間短縮につながっていると感じているのが、月末・月初の報告書や計画書の作成です。約60名の利用者様の報告書や計画書を作成するには、これまでは訪問の合間の時間を使ったり、夜遅くまで作業したりすることもあり、かなりの時間と労力が必要でした。

神マナでは、報告書の下書きをボタン一つで作成してくれるため、作成後は内容を確認し、必要な部分を修正するという形で進めることができます。計画書についても、評価の下書きを作成してくれるため、同様に確認・修正

を行うだけで完成に近づけることができます。

もちろん、最終的な内容を確認し、自分で手直しの必要はありますが、「ゼロから文章を作る」のではなく「下書きをもとに完成させる」という形になるだけでも、作業時間は大きく短縮されました。

「次に開いたときには、改善されている」

また、神マナを使っていて特に印象的なのが、改善や対応のスピード感です。「ここが少し使いにくい」「こうなったらもっといいのに」と感じたことが、次に開いたときには改善されていることもあり、どんどんアップデートされ、より使いやすくなっていると感じています。

利用する側の意見が反映されながら進化していくところも、実際に使っていて魅力に感じる部分です。

短くなった時間を、記録の質と、利用者様と関わる時間へ

これからは、報告書や計画書の作成時間を短縮するだけでなく、その分、内容の質をさらに高めていきたいと思っています。また、普段の看護記録についても、より利用者様の状態や看護課題が伝わる、質の高い記録を作成できるようにしていきたいです。

神マナに記録作成の一部を手助けしてもらうことで、記録に追われる時間を減らし、その分、実際に利用者様と関わる時間を大切にすることができるようになりました。

“業務の負担を少しでも減らしながら、利用者様にとってより良い看護を提供し、同時に看護師自身も働きやすい環境をつくっていく。そのための第一歩として、神マナを活用していきたいと感じています。

— MAO GROUP 訪問看護リハビリステーション JA-KEY+ 玉井 花奈

※本文は、ご本人に書いていただいた文章を、ご了承のうえ掲載しています（表記の揺れのみ当社で整えました）。記載の内容は各事業所での運用に基づくもので、効果には個人差があります。行政への確認についての記述は、ご本人が相談した書類の範囲に限った内容であり、アプリや書類全般について承認を受けたものではありません。